

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 年 月 日

事業所名 デファアカデミー谷町六丁目校

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			子ども一人あたり2.47㎡の床面積を確保している。
	2	職員の配置数は適切である	○			児童指導員等の有資格者を常時3人以上、指導スタッフとして配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			保護者等の意見を参考に改善、配慮している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングや課題検討等で意見交換をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今回からホームページに公開する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			随時、デファアカデミーの支援等を学ぶための見学者やインターン生が全国から来塾され、第三者の視点で意見や感想を頂き、改善のヒントにしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			会社全体の研修は実施。外部研修を行った時は、参加職員が現場にフィードバックしている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			本人・保護者のニーズを聞き取り、また日々の様子を観察し計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	今後、作成する予定。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ全員が意見を出し合い、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			随時利用者の状況に応じて、プログラムの見直しを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日・長期休暇に応じてプログラムを組み立てている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動・集団活動を適宜組み合わせ、計画書を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			必ずその日の指導担当を振り分け、リードとサブなどの役割分担を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			支援終了後にそれぞれ職員間で、その日の支援の振り返りを行うと共に気づいた点を話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が供覧できるようクラウド化している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月ごとにモニタリング・アセスメントを行い、計画の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			ガイドラインの基本活動をおさえながら、支援を行なっている。	
20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			可能な限り児童発達支援管理責任者が情報・意見交換を行っている。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		保護者から随時情報提供をして頂いている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	該当者がなく、未実施です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	保護者から随時情報提供をして頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	該当者がなく、未実施です。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	主催研修や講習会など積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	年に数回交流の機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	児童発達支援管理責任者が協議会等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者と定期的に面談の機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者と定期的に面談の機会を設け、その際にお伝えしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	毎回の契約時に適切に説明し、理解を得られるようにしちる。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	臨時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	今後、実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	契約時に苦情窓口等の説明をしている。また児童発達支援管理責任者を中心に相談及び申ししれ日しては随時対応するように徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月、1ヶ月のプログラム予定表を保護者に発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報の取り扱いには十分注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	子どもへの意思疎通に関しては、手話や筆談等のコミュニケーションツールを駆使している。書面での理解が難しい保護者へは直接話をする等の対応をしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	特に実施していない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルの作成はしているが、周知ができていない部分が見られているため積極的に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	座学での研修はあったが、実践はまだのため今後実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待を防止する為、適切な支援を行う研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	該当者がいないため未実施。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	おやつ・食事の提供は行っていない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	スタッフ間でヒヤリハット事例の共有は行っているが、書類作成が不十分のため今後、作成予定。	